

中学校給食導入に係る
利用見込み等に関するアンケート
調査結果

鎌倉市教育委員会

平成 27 年 1 月

目 次

1	調査の概要	1
2	集計結果	
(1)	中学2年生のみ	2
(2)	小学5年生及び中学2年生共通	3
(3)	自由意見【小学5年生】	8
(4)	自由意見【中学2年生】	9
3	まとめ	10
参考資料		
(1)	【資料1】小学5年生保護者宛て依頼文	11
(2)	【資料2】アンケート用紙（小学5年生保護者用）	12
(3)	【資料3】中学2年生保護者宛て依頼文	13
(4)	【資料4】アンケート用紙（中学2年生保護者用）	14
(5)	【資料5】中学校給食導入に伴うアンケートのお願い（小中共通）	15
(6)	【資料6】中学校給食で提供するお弁当のイメージ（小中共通）	16

1 調査の概要

(1) 調査の目的

給食の実施にあたっては、家庭弁当を持たせたいという保護者や食物アレルギーを持つ生徒がいることを考慮し、全員喫食ではなく、給食と家庭弁当を選ぶことができる選択方式を考えていることから、保護者の利用見込み等を把握し、実施に向けての基礎資料とするため。

(2) 調査の対象

鎌倉市立全小学校 16 校の 5 年生保護者 1,396 人
鎌倉市立全中学校 9 校の 2 年生保護者 1,156 人
合計 2,552 人

(3) 調査の方法

各小中学校を通じて保護者へ配付するアンケート方式

(4) 調査の期間

平成 26 年 10 月 6 日（月）～15 日（水）までの期間に実施し後日回収

(5) 回収状況

（単位：人）

	在籍数	回収数	回収率
小学 5 年生保護者	1,396	1,124	80.5%
中学 2 年生保護者	1,156	878	76.0%
合計	2,552	2,002	78.4%

(6) 集計の仕方

回答の構成比は、端数処理の関係上、合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答が可能な質問の場合、回答の構成比の合計が 100%を超える場合がある。

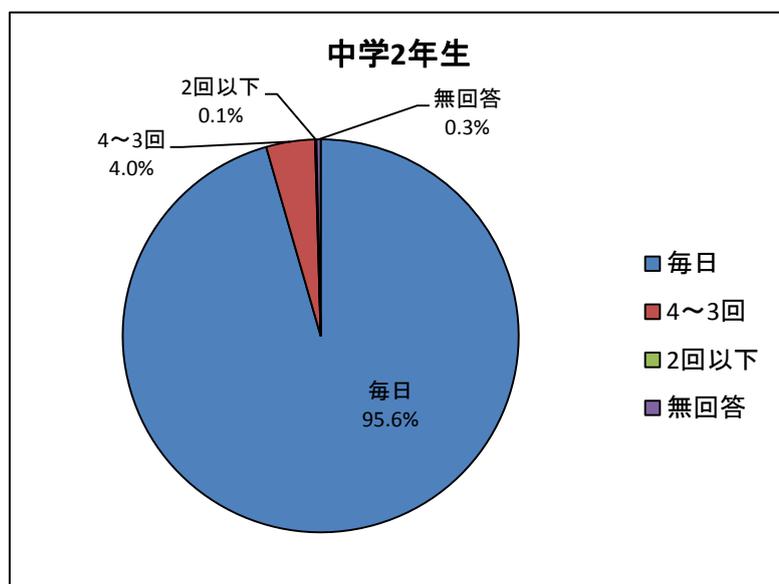
2 集計結果

(1) 中学2年生のみ

【中学生】質問1 現在、弁当は週何回くらいお子さんに持たせていますか

(単位：人)

回答項目	中学2年生	
毎日	839	95.6%
4～3回	35	4.0%
2回以下	1	0.1%
無回答	3	0.3%
合計	878	100.0%



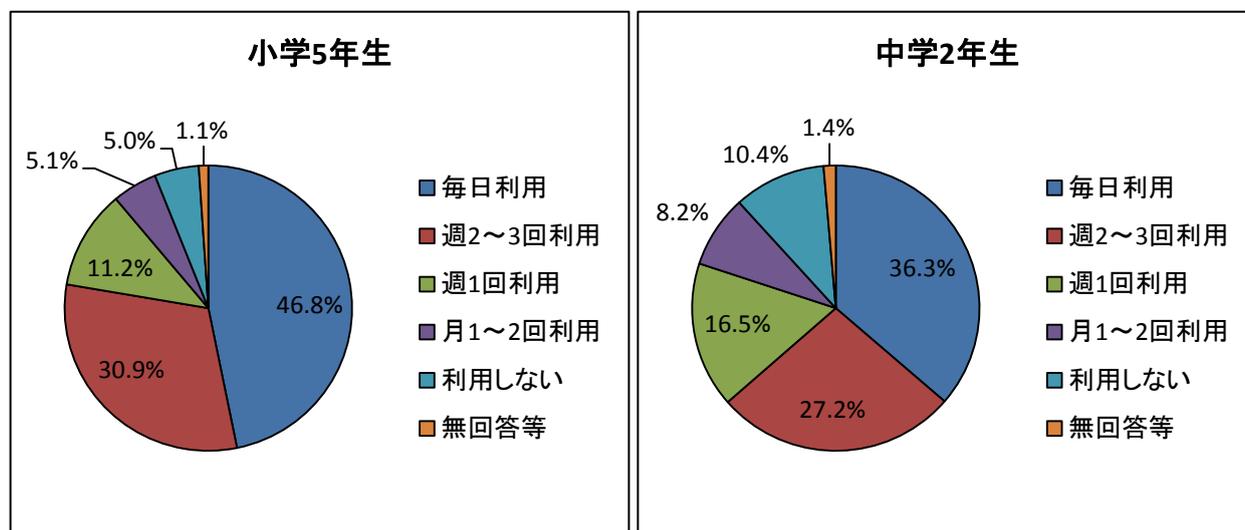
95.6%の保護者が「毎日」持たせているとの回答で、ほとんどの保護者が家庭弁当を持たせている。「週に2回以下」は0.1%である。

(2) 小学5年生及び中学2年生共通

【小学生】質問1 中学校給食が実施された場合、どのくらい利用したいと思いますか
 【中学生】質問2

(単位：人)

回答項目	小学5年生		中学2年生	
毎日利用したい	526	46.8%	319	36.3%
週2～3回利用したい	347	30.9%	239	27.2%
週に1回くらい利用したい	126	11.2%	145	16.5%
月に1～2回利用したい	57	5.1%	72	8.2%
利用しない	56	5.0%	91	10.4%
無回答等	12	1.1%	12	1.4%
合計	1,124	100.0%	878	100.0%



【小学5年生】

「毎日利用したい」と回答した保護者は46.8%である。また、30.9%の保護者は「週2～3回利用したい」と回答しており、合計は77.7%である。

「利用しない」との回答は5.0%で少数である。

【中学2年生】

「毎日利用したい」と回答した保護者は36.3%であり、小学5年生の46.8%と比較して約10%低い。また、27.2%の保護者は「週2～3回利用したい」と回答しており、合計は63.5%である。

「利用しない」との回答は10.4%で、小学5年生より5.4%高い。

【小学生】質問2 中学校給食を利用したい理由について（あてはまるものに1つ）

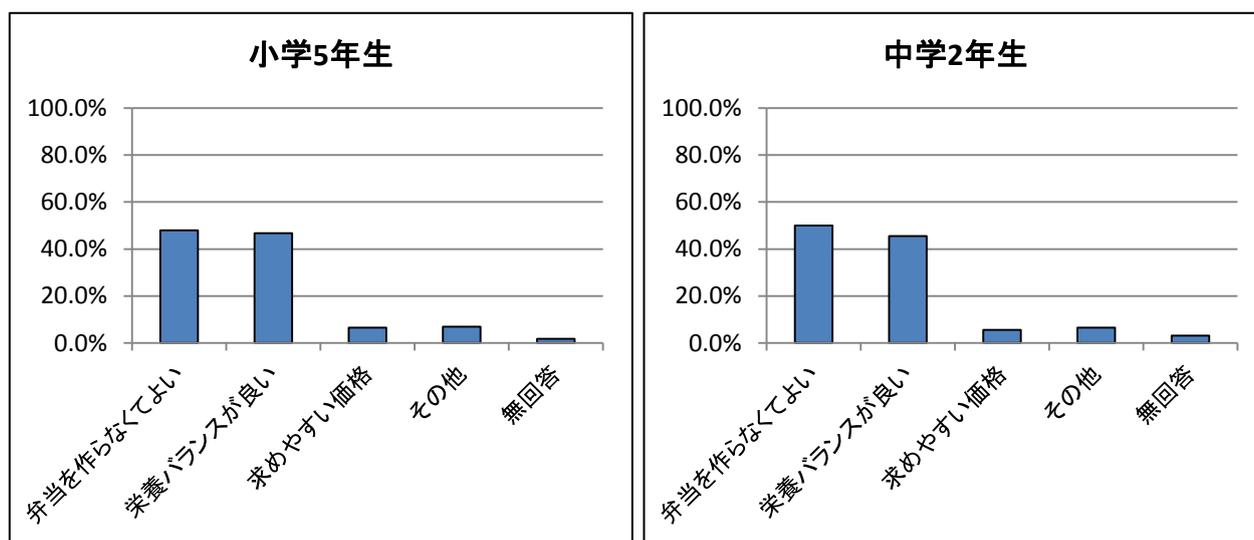
【中学生】質問3

（※【小学生】質問1及び【中学生】質問2で「利用しない」以外の回答をされた方）

（単位：人）

回答項目	小学5年生		中学2年生	
弁当を作らなくてよい	506	47.9%	387	49.9%
栄養バランスが良い	494	46.8%	353	45.5%
求めやすい価格	69	6.5%	43	5.5%
その他	73	6.9%	51	6.6%
無回答	19	1.8%	24	3.1%
回答対象者数	1,056		775	

※回答方法は、もっともあてはまるものを1つとしていたが、複数回答もあったため、その回答についても計上した。



【小学5年生】

「弁当を作らなくてよい」が47.9%で、ほぼ同じ割合で「栄養バランスが良い」が46.8%である。

「その他」の6.9%の内容としては、「温かいものが食べられるから」、「夏の食品管理が安心」、「友達と同じ食事を楽しめるから」などである。

【中学2年生】

「弁当を作らなくてよい」が49.9%で、「栄養バランスが良い」が45.5%であり、小学5年生とほぼ同様の割合となっている。

「その他」の6.6%の内容としては、「家庭弁当が作れないとき」、「栄養と温かさが魅力」、「毎日家庭弁当では飽きるため」などである。

【小学生】質問3 中学校給食を毎日利用しない理由について (あてはまるものに1つ)

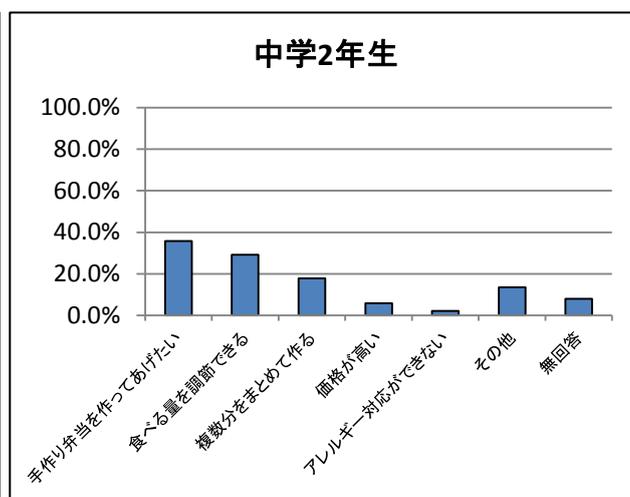
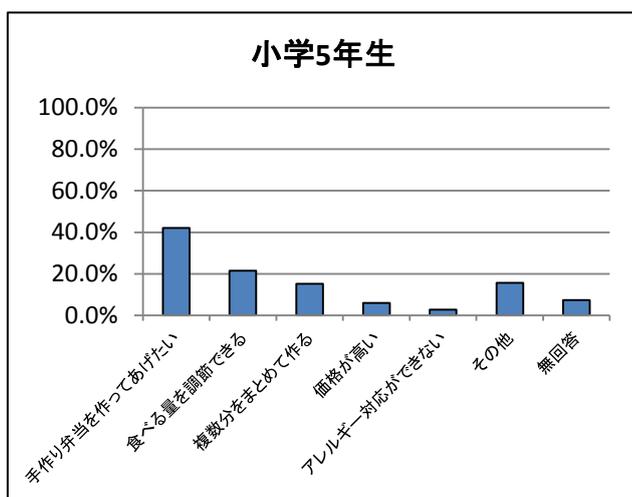
【中学生】質問4

(※【小学生】質問1及び【中学生】質問2で「毎日利用したい」以外の回答をされた方)

(単位：人)

回答項目	小学5年生		中学2年生	
家庭での手作り弁当を作ってあげたい	247	42.2%	196	35.8%
家庭弁当は食べる量を調節できる	126	21.5%	160	29.3%
家族内で複数分をまとめて作る	89	15.2%	98	17.9%
価格が高い	35	6.0%	32	5.9%
アレルギー対応ができない	16	2.7%	12	2.2%
その他	92	15.7%	74	13.5%
無回答	43	7.3%	44	8.0%
回答対象者数	586		547	

※回答方法は、もっともあてはまるものを1つとしていたが、複数回答もあったため、その回答についても計上した。



【小学5年生】

「家庭での手作り弁当を作ってあげたい」との回答が42.2%で最も多く、次いで「家庭弁当は食べる量を調節できる」が21.5%である。

「その他」の15.7%の内容としては、「仕出し弁当みたいで飽きてしまいそう」、「安全安心なものを食べさせたいから」、「子どもが弁当を望んでいるから」などである。

【中学2年生】

「家庭での手作り弁当を作ってあげたい」との回答が35.8%と最も多く、小学5年生と比べ6.4%低い。次いで「家庭弁当は食べる量を調節できる」が29.3%であり、小学5年生と比べ7.8%高い。「アレルギー対応ができない」からという理由では、2.2%と少数である。

「その他」の13.5%の内容としては、「弁当作りに慣れたから」、「家庭弁当は健康チェックのひとつ」と言った、家庭弁当を作ってこられた中学生の保護者ならではの理由もあり、また「見た目がおいしくなさそう」、「民間だと食材に不安がある」などである。

【小学生】質問4

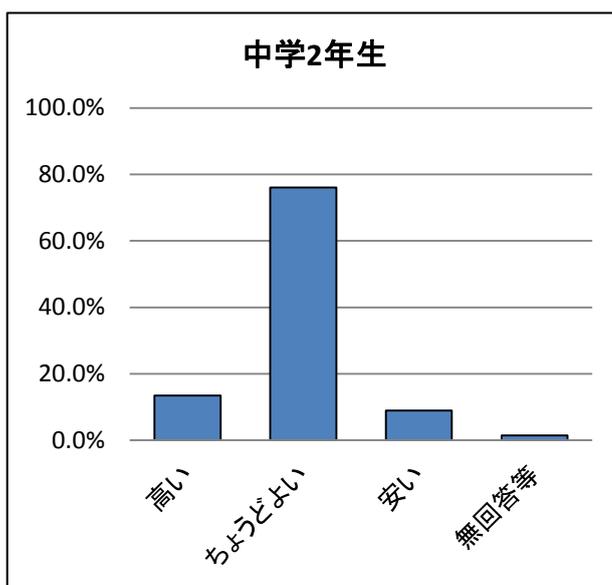
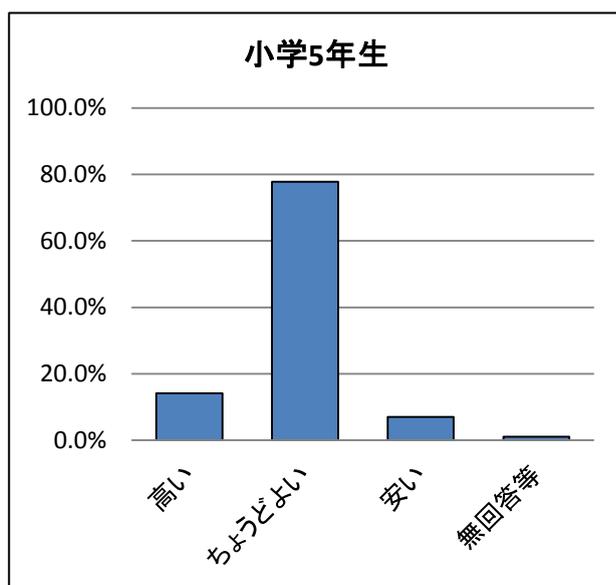
中学校給食が実施された場合、1食あたり300円についてどう思われますか

【中学生】質問5

(参考：平成26年度小学校は月額4,000円で、1食あたり約240円となります)

(単位：人)

回答項目	小学5年生		中学2年生	
高い	159	14.1%	118	13.4%
ちょうどよい	874	77.8%	668	76.1%
安い	79	7.0%	79	9.0%
無回答等	12	1.1%	13	1.5%
合計	1,124	100.0%	878	100.0%



【小学5年生】

「ちょうどよい」が77.8%回答しており最も多い数値である。

【中学2年生】

「ちょうどよい」が76.1%と回答しており、小学5年生とほぼ同じで割合である。

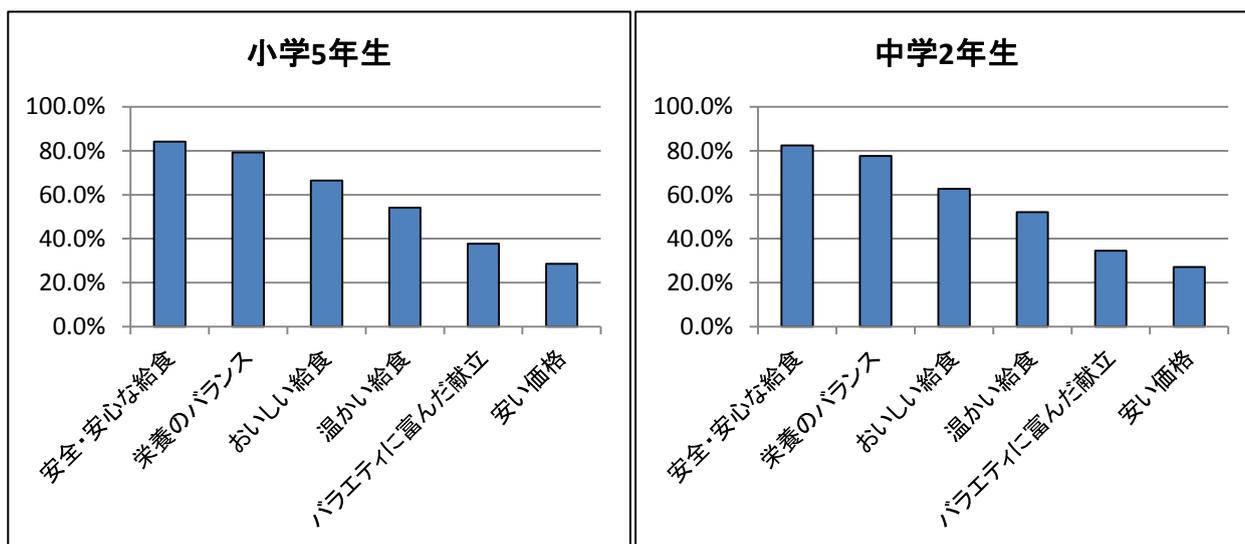
【小学生】質問5

中学校給食に期待することは、どのようなことですか（複数回答可）

【中学生】質問6

（単位：人）

回答項目	小学5年生		中学2年生	
安全・安心な給食	945	84.1%	724	82.5%
栄養のバランス	890	79.2%	681	77.6%
おいしい給食	747	66.5%	551	62.8%
温かい給食	609	54.2%	457	52.1%
バラエティに富んだ献立	425	37.8%	303	34.5%
安い価格	322	28.6%	239	27.2%
回答者数	1,124		878	



【小学5年生】

「安全・安心な給食」が最も多く84.1%、次いで「栄養バランス」が79.2%である。

【中学2年生】

「安全・安心な給食」が最も多く82.5%、次いで「栄養バランス」が77.6%であり、小中学校ともに保護者からは、安全・安心な給食が求められている結果であった。

(3) 自由意見 【小学5年生】

回収数 1,124

主な自由意見

	内 容	件数
1	早期に導入してほしい	59
2	働いている親にとっては負担軽減になる	53
3	男女で食べる量が違うので調整できると良い	47
4	食材を含め、安全安心なものを希望	46
5	給食導入に賛成	46
6	給食は栄養バランスが良い	31
7	弁当か給食か選択できるのが良い	29
8	美味しくて様々なメニューを希望	28
9	前日または当日に予約できると良い	25
10	小学校と同様に自校方式にしてほしい	23
11	牛乳をやめる、もしくは選択できるようにしてほしい	22
12	夏季の腐食の心配がなくなる	15
13	給食費を安くしてほしい	12
14	選択方式ではなく、全員喫食にしてほしい	11
15	温かい給食が提供されるのが良い	11
16	量が足りない場合は、ご飯又はおかずを持参させてほしい	10
17	今検討されているシステムではあまり利用したくない	8
18	地場産の食材を使用してほしい	8
19	アレルギー対応ができるようにしてほしい	8
20	栄養士さんが作成する献立だと安心	7
21	親として家庭弁当を持たせたい	6
22	現状維持でかまわない	6
23	放射能検査をしてほしい	6
24	弁当作りは家族間でのコミュニケーションになる	4
25	子どもの荷物の負担軽減になる	4

※ 複数回答のあった意見のみを記載

(4) 自由意見 【中学2年生】

回収数 878

主な自由意見

	内 容	件数
1	男女で食べる量が違うので調整できると良い	33
2	早期に導入してほしい	32
3	働いている親にとっては負担軽減になる	29
4	食材を含め、安全安心なものを希望	25
5	美味しくて様々なメニューを希望	20
6	前日または当日に予約できると良い	19
7	小学校と同様に自校方式にしてほしい	18
8	牛乳をやめる、もしくは選択できるようにしてほしい	18
9	給食は栄養バランスが良い	14
10	選択方式ではなく、全員喫食にしてほしい	14
11	地場産の食材を使用してほしい	10
12	弁当か給食か選択できるのが良い	10
13	給食導入に賛成	9
14	親として家庭弁当を持たせたい	7
15	量が足りない場合は、ご飯又はおかずを持参させてほしい	7
16	アレルギー対応ができるようにしてほしい	6
17	温かい給食が提供されるのが良い	6
18	夏季の腐食の心配がなくなる	6
19	栄養士さんが作成する献立だと安心	5
20	給食費を安くしてほしい	4
21	現状維持でかまわない	4
22	今検討されているシステムではあまり利用したくない	4
23	弁当作りは家族間でのコミュニケーションになる	3
24	給食時間が短い	2

※ 複数回答のあった意見のみを記載

3 まとめ

(1) 現状の考察

本調査の目的である、保護者の利用見込みを把握するために「中学校給食が実施された場合、どのくらい利用したいか」の問いに対して、「毎日利用したい」及び「週2～3回利用したい」との回答が、小学生の保護者では約8割、中学生の保護者では約6割となっており、多くの保護者が給食の実施を望んでいることがわかった。

給食を利用したい理由としては、小中学生の保護者とも「弁当を作らなくてよい」との回答が約5割で、小学生の保護者については、将来的に中学生になっても給食があるとよいという観点から、約8割の方が望んでいる結果であった。

一方、中学生の保護者については、これまで家庭弁当を作ってきた経験から、弁当作りに慣れており定着していることから、約6割の回答であった。

こうした結果から、すでに中学校では弁当を持参していることや、「家庭での手作り弁当を作ってあげたい」と回答している保護者がいることを考慮すると、導入時には家庭弁当と給食を選択できることが必要であると考えられる。

(2) 課題及び今後の取組

今回の調査から、中学校給食を実施するにあたり、様々な課題についても把握することができた。主な課題と今後の取組については次のとおりである。

「家庭での手作り弁当を作ってあげたい」

中学校給食を利用しない理由として一番多かった回答であるが、給食は、毎日の栄養摂取基準に配慮していることなどを理解してもらうとともに、実施後もよりよい給食の提供に努めていく。

「家庭弁当は量を調節できる」

中学生になると男女や成長期における体格の個人差から食べる量に違いがあり、家庭弁当なら摂食量の調整ができるという理由と思われるが、給食実施に当たり、量については栄養の摂取基準を前提とし、不足する場合は、主食のおかわり分に配慮するなどの対応を図る。

「安全安心なものを食べさせたい」、「使用する食材に不安がある」

安全な食材の確保は、学校給食を提供する上では不可欠であるため、使用食材については、選定基準を設けて安全対策を図っていく。

今後、本調査を踏まえ、回答をいただいた保護者の方々の意見を参考に、子ども達においしく、安全で安心して食べられる中学校給食の実施に向けて取り組んでいきたい。

參考資料

鎌倉市立小学校 5 年生児童保護者の皆様へ

鎌倉市教育委員会

中学校給食導入に伴うアンケートのお願い

日ごろから、学校給食についてのご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、現在、鎌倉市立中学校の昼食は弁当持参を原則としておりますが、県内他市では中学校給食の実施や検討が進んでいるところです。

本市においても、中学校給食の必要性や導入に向けての課題等を整理し検討した結果、平成 29 年度から実施する方向で進めています。(詳細については裏面参照)

今後、中学校給食を導入するにあたり、保護者の皆様の利用見込みは、大変重要な基礎資料となります。そのため、実施に向けて保護者のお考えをお聞きすることといたしました。

つきましては、平成 29 年度中学 2 年生に進学する現在小学校 5 年生児童保護者の皆様のお考えをお聞きし、本事業推進の参考とさせていただきたいと思っております。

つきましては、趣旨ご理解の上ご協力をお願いいたします。

- 1 調査対象者 市立全小学校の 5 年生児童の保護者
- 2 添付書類 ① 中学校給食で提供するお弁当イメージ図
② 中学校給食導入に伴うアンケート用紙
- 3 提出方法 全ての記入が終わりましたら、アンケート回答用紙を担任の先生にご提出ください。
- 4 提出期限 **平成 26 年 10 月 15 日 (水) まで**
- 5 その他 市立全中学校の 2 年生生徒の保護者へも本調査を実施しております。

【お問い合わせ先】

学務課 給食担当

TEL 0467-61-3804

鎌倉市立中学校 2 年生生徒保護者の皆様へ

鎌倉市教育委員会

中学校給食導入に伴うアンケートのお願い

日ごろから、学校給食についてのご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、現在、鎌倉市立中学校の昼食は弁当持参を原則としておりますが、県内他市では中学校給食の実施や検討が進んでいるところです。

本市においても、中学校給食の必要性や導入に向けての課題等を整理し検討した結果、平成 29 年度から実施する方向で進めています。(詳細については裏面参照)

今後、中学校給食を導入するにあたり、保護者の皆様の利用見込みは、大変重要な基礎資料となります。実際に開始する時期には、皆様のお子さんは卒業されているので「利用することはできない」というご意見もあろうかと思いますが、小学校給食と中学校での家庭弁当の両方の経験を踏まえ、もし今、「給食が導入されたら利用するか」という観点で、保護者のお考えをお聞きし、本事業推進の参考とさせていただきたいと思っております。

つきましては、お忙しい中恐縮ですがご協力をお願いいたします。

- 1 調査対象者 市立全中学校の 2 年生生徒の保護者
- 2 添付書類 ① 中学校給食で提供するお弁当イメージ図
② 中学校給食導入に伴うアンケート用紙
- 3 提出方法 全ての記入が終わりましたら、アンケート回答用紙を担任の先生にご提出ください。
- 4 提出期限 **平成 26 年 10 月 15 日 (水) まで**
- 5 その他 市立全小学校の 5 年生児童の保護者へも本調査を実施しております。

【お問い合わせ先】
学務課 給食担当
TEL 0467-61-3804

中学校給食導入に伴うアンケートのお願い

鎌倉市立中学校での昼食は、これまで家庭からの弁当を持参することを基本として実施してきました。しかし近年、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、豊かな食生活をもたらしている一方、朝食欠食率や孤食の増加、カルシウム不足、脂肪の過剰摂取など様々な問題が出てきています。

鎌倉市教育委員会では、中学校での給食を通して生徒に栄養バランスのとれた昼食を提供し、健康の保持増進を図ることを目的として、給食実施に向けて取り組んでおります。

給食の実施にあたっては、家庭弁当を持たせたいという保護者や食物アレルギーを持つ生徒がいることを考慮し、全員給食ではなく、給食と家庭弁当を選ぶことができる選択方式を考えています。選択方式では、どのくらいの利用見込みがあるかが重要となるため、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

★市で検討している中学校給食について★

実施方式	小学校での自校調理とは違い、民間調理事業者が所有する調理施設で給食を調理し、弁当箱に盛り付けて各中学校へ配送するデリバリー給食とします。これは、費用面や導入のしやすさに有効であり、また配膳等が迅速にできることから、現在の授業時間や行事等の教育活動への影響が最も少ない方式です。
実施時期	平成29年度から実施するために学校給食の衛生管理基準上、調理後2時間以内の喫食に対応できる民間調理事業者の選定や、新たに調理施設の建設、併せて全中学校に給食を搬入・保管するための受入室の整備に向けて準備を進めています。
提供方法	給食と家庭弁当を選ぶことができる選択方式とします。
提供形態	学校給食法に定められている学校給食摂取基準に基づき、主食・おかず（汁物含む）及び牛乳からなる完全給食の献立を市の栄養士が作成し、毎日日替わりで主食及びおかずをそれぞれの弁当箱に盛り付けて、できるだけ温かいものを提供することを考えています。 お弁当のイメージ写真については、別紙のとおりです。 ただし、食物アレルギーの個別対応はできません。
申込方法	選択方式とすることから、申込方法は、パソコン・携帯電話からのインターネット予約や学校においてマークシートでの予約とする給食予約システムの導入を予定しています。予約締切は一週間前程度として、当日予約はできません。
給食費	1食あたり300円程度で、1食から利用可能と想定しています。なお、給食費の徴収は前払い方式とします。

● 上記の内容を踏まえ、アンケートにお答えください。

※小中学校保護者ともに共通配付

※保護者へのアンケート配付は、カラー印刷されています

資料6

中学校給食で提供するお弁当のイメージ

① ハンバーグ



主食： ご飯
副食： ハンバーグ、ナポリタン、ポテト
サラダ、ミニトマト、ゆで卵、牛乳
汁物： クリームシチュー

② さわらの西京焼き



主食： ご飯
副食： さわらの西京焼き、青菜炒め、ひ
じき煮、肉じゃが、なます、牛乳
汁物： 豚汁

③ イカとちくわの天ぷら



主食： ご飯
副食： イカとちくわの天ぷら、れんこん
きんぴら、厚揚げのそぼろあんかけ、青菜
炒め、牛乳
汁物： 野菜スープ

④ エビフライ



主食： ご飯
副食： エビフライ、ナポリタン、ポテト
サラダ、ミニトマト、ゆで卵、牛乳
汁物： クリームシチュー